会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（松浜自治会）
2　日時	平成30年8月5日（日）18：00～19：00
3　場所	浜須賀会館
4　出席者	（資源循環課）熊澤課長、原田副主査 （環境事業センター）小室所長、篠田主幹、加藤所長補佐 （松浜自治会）参加人数：64人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●戸別収集になった場合、集合住宅の取扱はどうなるのか。 →他市の事例を見ると、基本的にはこれまでの収集方法と変えていない。規模の小さいアパートなど、地域の集積場所を共有している場合には、アパート専用の集積場所を設けている。 ●家庭ごみの有料化と戸別収集の導入パターンはどのようになるのか。両方実施する場合や片方だけ実施する場合もあるのか。 →どちらも実施する場合や、片方だけの場合、どちらもやらない場合など、様々なパターンが想定される。 →茅ヶ崎市の財政状況を考えると、戸別収集だけ実施するパターンは現実的に難しい。 ●収集時間が午後になる場合、カラスの被害が発生する。不適正に出されたごみの対応はどのように考えているのか。 →これまでも不適正排出に対しては、ステッカーなどで注意喚起を行ってきた。地域の方にはご迷惑かもしれないが、適正に排出している方との公平性を踏まえ、一定期間そのままの状態で置いて周知を行うことは必要であると考えている。 ●紙の資源化について、どのような形で費用対効果が出ているのか。 →年度毎に単価は異なるが、紙の売却益は、28年度で6,000万円ほどある。 ●袋を購入する場合、10枚単位などで購入することになると思う。単価が1.6円であった場合、市民にとっては相当な負担であると思う。 →市町村の状況に応じて袋の単価は変わってくるが、茅ヶ崎市でいくらが適正なのか検討していきたい。 ●カラス被害に対し、ネットボックスを置いている自治会もある。ネットボックスの設置に関して、市としてどのように取り組まれているのか。 →ネットボックスについては、自治会や個人でご用意いただいており、そのための補

	助は考えていない。ネットやネットボックス、ポリバケツなど、地域の状況に応じてご対応いただきたい。 ●ネットボックスを設置している自治会はどの程度あるのか。多くの自治会で設置が進んでいるようであれば、補助について市に交渉したい。 →地域の方がきちんと出しており、ネットでも問題が発生していない地域もあることから、一律に補助を出すということは難しい。ネットボックス専用の補助というわけではないが、資源物の収集量に応じて市から補助を出しているので、そちらを活用しネットボックスを購入していただくということは可能である。 ●カラス被害が発生している。不適正に出されたごみ袋がカラスに荒らされた場合、地域の方が有料の袋を使って、集積場所をきれいにしなければならないのか。 →地域の方のご負担になるということは承知している。例えば、善意で清掃をしていただいた際には、その旨書いた張り紙を付けていただくような対応を検討していきたい。他市の事例も確認させていただく。 ●戸別収集をすれば、集積場所の問題も解決できるので、戸別収集も家庭ごみの有料化も賛成である。最近は共働きの世帯も多く、午後の収集ではカラスの被害が発生してしまう。午前中のうちに収集を終えることを検討してもらいたい。 →藤沢市では、各世帯の責任でポリバケツのようなものを用い、カラス対策をしている。午前中に全ての世帯を収集することは、車両や人員面からも現実的ではない。 ●蓋を開けて収集することは可能なのか。 →藤沢市では、道路との境界の敷地内に蓋付きのポリバケツなどを置いていただいて、ひとつひとつ回収するということを実施している。 ●紙類を出す際にも、有料の袋を使用するのか。 →県内他市では、燃やせるごみと燃やせないごみを有料化の対象としており、紙類などの資源物は除いている。 以上